

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 3 月 26 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

ここまで、N・V・E という 3 つの計算値、そしてその仲値を取る方法。さらに、過去の相場における値幅を今後の相場にあてはめるという方法をご説明しました。(前回までのレポート参照)

では、**どのような局面ではどの計算値が出やすいか**を考えて見ます。

(1925)大和ハウスのチャートをご覧ください。長期間にわたって下げ続け 2 月 6 日安値が **609** 円。やっと底が入ってここから反発に転じます。その直後の 2 月 14 日高値が 710 円。

こうしたケースでは、**609** 円から **710** 円までの上げ幅 **101** 円を、この **710** 円に上乘せする **E 計算値 (811 円)** が目標値になることが多いのです。

すなわち、**長期間にわたって下げ続けた相場が底を打ったら、初動の上げ幅をそのまま初動の高値に上乘せする E 計算値が目標値になることが多いと覚えておいて下さい。**

(無料テレフォンサービス) やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552)



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。